

科 目 名	政治・経済	普通科選択 3年次・4単位
目 標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
位 置 づ け	進学者向け「発展政治経済」につながるだけではなく、社会的な見方や考え方を日常の場面でも利用できるようにする事が必要です。	

■使用する教材 ・教科書 ・資料集 ・過去の模擬試験問題 ・自作プリント ほか		■学習する単元とおおよその時期 ・政治の基礎知識の確認【4月～6月】 ・経済の基礎知識の確認【7月～9月】
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 授業 教科書の確認・説明 課題（一問一答、共通テスト問題）の取組 解答 解説 まとめ 復習 問題演習		

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 社会の諸事象に関して、様々な資料を活用しながら、多面的・多角的にその課題を捉えることができる。	社会の問題の背景や原因を分析し、多角的・多面的に考察し、公正な判断や適切な表現をすることができる。	主権者として、社会の諸問題について自分事として捉え、主体的に考察しようとする態度を身につけている。
	B 日本の政治・経済、国際政治や国際経済の仕組みや課題について、基本的な事項を理解している。	日本の政治・経済、国際政治や国際経済の基本的な課題について、その解決方法を考えることができる。	社会の諸事情について、興味・関心を持っている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査	定期考査	授業中の参加態度 ワークシートの内容 提出物

■領域ごとの授業時間数について（現代の国語、言語文化 のみ）

単元名								
話すこと・聞くこと								
書くこと								
読むこと								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■領域ごとの授業時間数について（英語コミュニケーションⅠ のみ）

単元名								
聞く								
読む								
書く								
話す（やりとり）								
話す（発表する）								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■自己評価について

授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。

- ・生徒自身が3観点について、振り返る
- ・生徒自身の取り組み方について
- ・教員の授業について